

ラジオmjcインタビュー紹介

このインタビューは、もりおか女性センターのインターネットラジオ「ラジオmjc」で紹介しているものです。

今回は、元日本助産師会岩手県支部長で、2014年に保健衛生功労で旭日双光章を受賞された佐藤ムツさんのお話を4回に分けてご紹介します。

*ラジオmjcで放送している内容を、抜粋してまとめたものです。

【第1回】佐藤ムツさんは、1950年代から看護師、保健師、助産師として活躍されていらっしゃいました。そもそもなぜ助産師になろうと思われたのか伺いました。

私、なんで保健婦になったか、助産師になったか考えてみたっさ、私の家貧乏なんだよ。小さい時に父が死んで、姉弟いっぱいいて貧乏だったのさ。

だけど母から、「なんぼ貧乏でも、心までひもじくなるな」って言われたんだよね。母は無学なんだよ。だってね。昔だから。明治の人だから。私らは「ああ、そっか」という感じで暮らしてきたわけだ。

昔は、男の人は学校に入れてもらう。だからおじさんたちは電力や国鉄に勤めていた。それでも私のおふくろやおふくろのお姉さんたちも学校さ入っていないのさ。昔うちの父は何をしていたのかなって思ったら染屋で働いていたらしくて、その家の人たちが私等のこと親みたいに面倒見てくれて。人に恵まれていたんだなって思うね。

あの当時は戦争だから、私の12歳違う姉が看護婦さんになりたくて病院に手伝いみたいに入っていたんだけど。姉が看護婦さんになっているし、いいものかなって思って。

その当時戦争まっただ中だから、お金はないからお金のかからないところに入って何か習えば生きられるって思ったわけだ。私等のこと受け持ってくれた先生が良い先生で、そうだったんならば、ってことで最初に日赤を受けたんだよね。落ちたんだよ。またどこか受けるかなって言って国立病院の学校受けて。

当時、戦争があるから、看護婦を従軍させねばねということもあるので、最初の養成は、逆にあの頃3円だったか30円だったか忘れたんだけど、小遣い制の学校に3年間入れてもらったの。その3年間の中で看護婦さんの勉強もするし、保健婦の勉強もしたの。助産師だけは、後で別の学校に入って卒業させてもらって。そして、職業安定所から下ノ橋の遠山先生を紹介されたの。その遠山先生も開業準備中で、そこにお世話になったの。

*第1回は、以上です。是非、本インタビューを女性センターHP「ラジオmjc」でお聞きください。佐藤ムツさんが盛岡弁で様々な楽しいエピソードを交えてお話しています。続きは、次号でご紹介します。



佐藤 ムツさん

● 女性相談

相談受付電話 019-604-3304

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。



もりおか女性センター

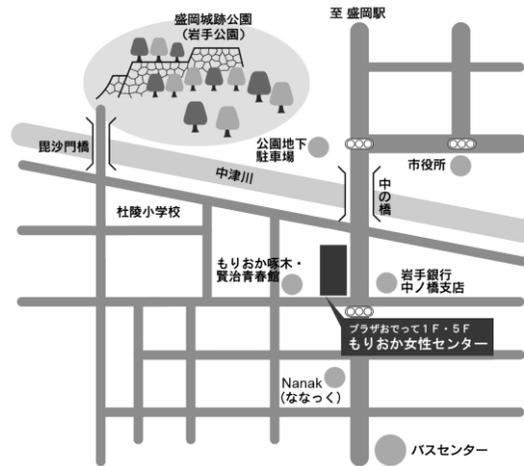
管理・運営：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

もりおか女性センターは、^{ひとひと}女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって5階
 電話番号 (019) 604-3303 FAX 050-2013-4750
 開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30 (土日祝 17:00まで)
 休館日 毎月第2火曜日、年末年始

■ 起業応援ルーム 芽でるネット

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって1階
 電話番号 (019) 624-3583 FAX 050-2003-5778
 開館時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00
 休館日 土日祝日、毎月第2火曜日、年末年始



(バス) 盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車 本館まで徒歩3分
 ※女性センターには、専用の駐車場はありません。おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

あとがき

- ◆先月開催した終活セミナーで、講師のお話に耳を傾けながら終活の奥が深いことを知りました。その中に自分もやってみたいことを見つけたので、早速いくつかあるやりたいことのひとつに追加します。今年は酉年、自由に飛びたい気分です。今年もニュースレターをどうぞよろしく願いいたします。(S)
- ◆休みの日はミシンを踏むことが多かったのですが、最近はこたつでのんびり編み物をする時間がとても大好きです♪マイペースですがキレイに仕上げていくというのは完成した時の満足度が違ってきます！仕事でも当てはまるので今年も妥協せず向き合っていこうと思います。(M)

ひとひと
 -女と男、ともに参画する社会をめざして-

もりおか女性センター

ニュースレター

2017年1月 No.64

内容

- ◆ 新年のご挨拶
- ◆ 事業のご案内
- ◆ 事業終了報告「なくそう！女性に対する暴力2016」
- ◆ 起業応援ルームからのお知らせ
- ◆ ラジオmjcインタビュー紹介「佐藤 ムツさん」



平成28年度事業テーマ

『チャレンジしよう！さらにひろがる私のちから』

発行：もりおか女性センター

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。
本年も引き続きよろしくお願い致します。

世界情勢が不穏なことの多い中で、今年一年がどうか平和でありますように祈らずにはいられません。

世界女性会議の合言葉が「平等・発展・平和」の3文字だったことを思い出します。平和がなければ、平等の実現も能力の発揮もできないということで、この3つの言葉は不可分なものなのです。

今年も様々な事業を企画し、皆様と手をたずさえて学びを深めていきたいと考えています。

安全で安心な一年になりますように。そしてほんとうの意味で女性が活躍できる世の中になることを期待しています。

もりおか女性センター センター長 平賀 圭子

● 事業のご案内

■シングルマザーのための就職応援講座

「一歩踏み出してみよう！」

受付中

本講座は、就職情報や就職活動のポイント、仕事に役立つビジネスマナー、また、簡単ストレッチやパソコンミニセミナーを取り入れた講座です。気軽にご参加ください。

日時：2/2、9、16、23（毎週木曜） 10:00~12:30

会場：もりおか女性センター 生活アトリエ

対象・定員：就職したいシングルマザー、またはそれに準ずる女性 ・12人

託児：無料 対象は、生後6カ月~未就学児 先着5人まで

参加費：無料

申込方法：12/20（火）10時から、電話（624-3583）にて先着順に受付

■みんなのおしゃべりルーム「夫婦ってなんだろう...!？」

お互いの体験や話を聴きながら解決のためのヒントを探すためのルームです。あきらめかけているその気持ち、話してみませんか？

日時：2/7（火）10:30~12:30

会場：もりおか女性センター 生活アトリエ

対象・定員：パートナーとの関係に悩んでいる女性 ・5人

参加費：無料

託児：有料（子ども1人につき500円）

対象は、生後6カ月~未就学児

*詳しくは、電話 604-3304 へお問い合わせください。

■市民団体支援事業 ※詳しくは、各団体のチラシ等をご覧ください。

男女共同参画社会の実現に向けた地域活動や市民活動をしている団体と女性センターが連携・協働のもと実施する事業です。

① 映画「不思議なクニの憲法」から考える、声をあげるわたし 主催団体：エンパワーメント11(い)わて

日時：2/11（土・祝）10:30~13:00

会場：プラザおでって3階 大会議室 / 定員：50人

② 「誰もがいきいき出来るための訪問看護」

主催団体：もりおか女性の会

日時：2/28（火）13:30~16:00

会場：プラザおでって3階 大会議室 / 定員：30人

● 事業終了報告



「なくそう！女性に対する暴力2016」終了



もりおか女性センターでは、今年も11/11（金）~17（木）に「なくそう！女性に対する暴力2016」を開催しました。今年で7回目となる街頭啓発キャンペーンをイオンモール盛岡南とホットライン肴町の2カ所で展開し、恒例のDVクイズの他、I&Y（デートDV予防啓発ユースリーダー）と平賀センター長のトークも行いました。

今年度は、約1,660人の方々に参加ご協力をいただくことができました。ご来場いただいた皆さま、街頭キャンペーンにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

【イオンモール盛岡南】



ユースリーダーI&Yと平賀センター長のトーク



参加者でにぎわう会場内

【肴町アーケード】



クイズに参加して防災グッズをGET!



東北電力の鉄塔をパープルにライトアップしていただきました

一街頭キャンペーンクイズより

1. メールや電話をすぐ返さないと一方的に怒るのは、デートDVだ
2. 暴力を振るわれる方にも原因があるから仕方がない

あなたは、どう思いますか??

(正解：1. O 2. X)



2016年6月に開催したデートDV予防啓発講演会の講師 瀧田信之さん(NPO法人 湘南DVサポートセンター理事長)にデートDVについてお話を伺いました。

Q. デートDVとはどういうことでしょうか。

10代、20代などの若い年代のカップルの間で起こっているドメスティックバイオレンスのことです。

*ドメスティックバイオレンス(DV)…妻や夫、パートナー等の親密な関係にある相手から暴力を振るわれること。

Q. 被害を受けている人が自分は暴力を受けていると気づかないのはなぜでしょうか。

恋愛真っ最中に起こる暴力の場合、殴られていても次の瞬間相手が急に涙を流して謝ったりする。合間合間に愛している、あなたがいないと生きていけないというような、本当に愛に満ち溢れたような言葉や言動がありますので、そこで惑わされていくということがあります。

*瀧田さんのインタビュー全編は、女性センターHP内「ラジオmic」でお聞きください♪

● 起業応援ルームからのお知らせ

■パソコンミニセミナー

起業や就職を目指している女性のための、パソコン基礎講座です。

①「ホームページ作成体験」

日時：2/21（火）13:00~15:00

会場：もりおか女性センター 生活アトリエ 定員：6人

②「ワードの基本・文章入力のコツをつかもう」

日時：2/28（火）10:00~12:00

会場：起業応援ルーム 定員：4人

③「ワードの活用・職務経歴書をつくろう」

日時：3/9（木）10:00~12:00

会場：もりおか女性センター 生活アトリエ 定員：6人

④「エクセルの簡単な表とグラフの作り方」

日時：3/16（木）13:00~15:00

会場：起業応援ルーム 定員：4人

⑤「エクセル・関数入門」

日時：3/23（木）13:00~15:00

会場：起業応援ルーム 定員：4人

*申込方法：①・②は、1/18（水）、③~⑤は、2/20（月）の10時から電話（624-3583）にて受付。 ※定員を超えた場合は抽選
*受講料無料。託児はありません。



中村みちこりんご園

中村美智子さん

働き方の多様化が進んでいる中、女性センターでは平成19年度より女性のための起業講座を行っています。今回は平成

21、22年度に実施した「アグリ起業芽でる塾」などに参加いただいた中村美智子さんをご紹介します。

中村さんは代々続くりんご農家の跡取りとして家業を継がれました。また盛岡市初の女性農業委員として3期12年務めて来られました。

芽でる塾には、りんご農家の幅を広げたいと受講されました。参加して、インターネットはあまり得意ではなかったけれど「ホームページを立ち上げてみようかな」と思われたそうです。実際にホームページを始めると、いつも新しいニュースを載せなければならないので、毎日暮らしているりんご園を見る見方が変わったそうです。また、講座に参加することで、同じ農業をやっている女性たちとも知り合い、様々な考えで農業をやっていることを知り、勉強になったとおっしゃっていました。

中村さんはりんご園をやっていく上で、園地を守ることはもちろん、りんご作りは個人の方でできるものではないので、一緒に働いている人たちを大事にしているそうです。

所属しているJAのりんご部会では減農薬栽培に取り組んでおり、安心安全な美味しいりんごをつくっていらっしゃいます。

中村さんのりんごは注文販売でほとんどなくなってしまうそうですが、サンフレッシュ都南やふれあい純情市場さっくらに出すこともあるそうなので、お出かけの際はぜひ探してみてください。

*今年の贈答用りんごは終了しました。また、ホームページは、現在閉鎖されています。

